

古代歴史文化に関する優れた書籍を表彰 「第5回古代歴史文化賞」 受賞作の決定について

「古代歴史文化賞」は、平成25年に創設された賞で、島根県・奈良県・三重県・和歌山県・宮崎県が連携して古代歴史文化に関する書籍を表彰することを通して、国民の歴史文化への関心を高め、豊かな歴史文化に恵まれた各県の交流人口の増加を促すとともに、各県民の郷土への自信及び誇りを醸成することを目的としています。

この度、「第5回古代歴史文化賞」の大賞及び優秀作品賞が下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

記

<古代歴史文化賞 大賞>

「タネをまく縄文人 最新科学が覆す農耕の起源」／吉川弘文館
著者：小畑弘己（おばた・ひろき）1959年長崎県生まれ

<古代歴史文化賞 優秀作品賞>

「海に向こうから見た倭国」／講談社
著者：高田貫太（たかた・かんた）1975年福島県生まれ

「古建築を復元する 過去と現在の架け橋」／吉川弘文館
著者：海野聡（うんの・さとし）1983年千葉県生まれ

「神話で読みとく古代日本－古事記・日本書紀・風土記」／筑摩書房
著者：松本直樹（まつもと・なおき）1963年東京都生まれ

「『日本書紀』の呪縛」／集英社
著者：吉田一彦（よしだ・かずひこ）1955年東京都生まれ

「古代歴史文化賞」記念シンポジウムのお知らせ
日時：平成30年2月10日（土）13:00～16:30（時間は予定）
会場：銀座ブロッサムホール（東京都中央区銀座）
内容：第5回「古代歴史文化賞」受賞者による基調講演
各県知事によるパネルディスカッション
『古事記』読み語り